

みんなに伝えていきたい

認知症の人や
その家族が
「自分の希望」
を地域で発信
できる場



岡山市

の

チーム

オレンジ

北区内山下・深柢地区



チームこもれび

チーム名の由来

活動の拠点となる短期大学と医療機関の間に位置する緑あふれる「ひだまりの校庭」の名前を借り、認知症の人や家族と地域・官・学が繋がる「チームこもれび」と名付けました。

チームの特色

「歴史の話がしたい」「後世に伝えていきたい」

ひとりの認知症の人の声をもとに、はじまった。

地区内の短期大学や医療センターの協力を得ながら、地域の認知症サポーターにも仲間になってもらい、それぞれのできることを出し合いながら、認知症の人とともに活動をする。

認知症になっても、自分の人生・経験を自らの言葉で語る。サポーターはそれに耳を傾け、想いや経験に触れる。共に過ごす時間の中でつながりを構築していく。

「人間の素晴らしいところを伝えていきたい」

「自分の経験が若い人のためになるなら嬉しい」

(認知症当事者)

「身近な地域の人とつながりを作れる場が大事」

「認知症の人の声をしっかりと聴きたい」 (認知症サポーター)

こもれびのように
誰かの心をそっとあたためる



岡山市の誰もが 自分の希望を叶える地域へ

チームオレンジとは

認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続ける上での色々なバリアを減らしていく取り組みをすすめ、地域・企業・医療・福祉を含めた関係者と協力者のもと、「認知症の人がどう暮らしていきたいか」の「声」を聞いた地域づくりの活動です。

活動の、今までとこれから

今まで

受け手と
支え手

本人より
支援者の意向

社会資源の
少なさ

本人のニーズに合わない
具体的な活動に
つながらない

(チームオレンジ)

これから

本人の「声」
を聴く

サポーターが
できる範囲で

共に活動を
考えることから

本人のどう暮らしたいかの
「声」を聞いた、
地域づくりへ
(ニーズに合った具体的な活動)

チームオレンジで目指すこと

本人の「希望」が
実現できる岡山市へ

認知症の人≠支えてあげる存在

認知症の人＝ともに生きる地域・社会の一員

本人と家族の
社会的孤立をゼロに

介護保険サービスだけが社会資源じゃない
診断前後の「空白期間」をなくそう！

認知症サポーターと一緒に
地域に必要なチームをつくる

自分も安心して生活できる岡山市

認知症サポーターになりませんか？

認知症のことを正しく理解し、認知症の人やその家族を見守る応援者・理解者です。
認知症サポーター養成講座（無料）を修了いただいた方にサポーターとなっていて
います。講座は定期的実施しています。興味のある方は、（公財）岡山市ふれあ
い公社地域包括支援課（086-274-5136）へお問合せ下さい。

